



パナソニック パンサーズと協定を締結

連携深めホームタウンを盛り上げ PR大使に就任

市は、菊丘南町のパナソニックアリーナが本拠地のバレーボールチーム「パナソニック パンサーズ」と連携協力協定を締結しました。ホームタウンとの連携を深め地域スポーツの発展に貢献したいというパンサーズ側からの申し出を受けたもので、主な協力事項は「積極的な情報発信」「バレーボールを通じた市民のスポーツ振興」「チームと市民の交流促進」。

また、協定締結に合わせチームとして枚方市PR大使に就任しました。就任期間は平成31年3月31日まで。

「地元盛り上げて」ファンモエール

協定締結の報告とPR大使の就



▲パンサーズ南部正司部長（右）と伏見市長（10月9日）。

任発表が10月9日、総合体育館で

スポーツキッズスクール開会式に先立ち行われました。その後の堺ブレイザーズとの招待試合を夫婦で観戦していた長久恵子さん（46歳）は「ファンなのでこれを機に枚方でたくさん試合をやってほしい。優勝して地元を盛り上げてください」とエールを送りました。

創部66年の強豪 清水さんらスター選手が所属

パンサーズは昭和26年創部。絶



▲PR大使就任で「パンサーズポーズ」を決め笑顔の選手たち。

大な人気を誇るスパイカー清水邦広さんら日本代表選手5人が所属し天皇杯・Vプレミアリーグ・黒鷲旗の3大タイトル全てを制する「三冠」を2回達成しています。

国際的に活躍する切り絵作家もPR大使に たけうちひろさん

市は10月13日、新之栄町在住の切り絵作家でイラストレーターのたけうちひろさんを枚方市PR大使に任命しました。たけうちさんは国際的に名高い伊波ローニャの絵本原画コンクールで2年連続入選を果たすなど国際的に活躍。9月に発行した市制施行70周年オリジナルフレーム切手のデザインも手掛けました。就任期間は平成31年3月31日まで。

☎スポーツ振興課 ☎050・7105・8061 ☎851・9335、ひらかた魅力推進課 ☎841・2298 ☎841・3039



▲たけうちひろさん

▼オリジナルフレーム切手



☎ひらかた魅力推進課 ☎841・2298 ☎841・3039

年賀はがきに ひこぼしくん

11月15日から3万枚を販売

枚方市キャラクター「ひこぼしくん」をデザインしたオリジナル年賀はがきを販売します。1枚52円（インクジェット印刷用）で3万枚限定。

▶日時など

11月15日(水)～17日(金)午前10時～午後4時、市役所本館北側臨時販売所（2万5000枚）。18日(土)から（午前10時～午後6時）くずはモール本館ミドリノモール1階正面入口（5000枚）。完売次第終了。予約不可。販売に関する詳細は春日野郵便局（☎858・0458）へお問い合わせを。

☎ひらかた魅力推進課

☎841・1229、☎841・3039

9月
定例会
議

平成28年度一般会計歳入歳出
決算などが認定、可決

平成29年9月定例会が10月18日に終了しました（9月15日までの内容は10月号に掲載）。9月22日・29日の本会議では、「御殿山駅周辺の交通安全対策に関する決議」など2件の決議と4件の意見書などが可決されました。ま

た、最終日の本会議では、平成28年度一般会計歳入歳出決算など13議案の認定等が行われ、「枚方市大東清四美術品管理基金条例」の制定議案などが可決されました。
 ⑤市議会事務局 ☎841・1528、FAX 841・0240

情報公開・個人情報保護
制度平成28年度運用
状況を公表

下表を参照。

◆情報公開制度 情報公開請求は133件。実施機関別の請求状況は、市長に対して108件、教育委員会に対して12件などで、具体的には「公用車運行日誌」「本市発注の工事または委託に係る金入り設計書」などでした。請求権者以外からの情報公開申出は106件。

◆個人情報保護制度 自己情報開示請求は64件で、特定個人情報に対するものはありませんでした。実施機関別の請求状況は、市長に対して60件、教育委員会に対して4件で、具体的には「住民票の写

平成28年度 運用状況 (概要)	情報公開 請求 (133件)	情報公開 申出※ (106件)	自己情報 開示 (64件)
全部公開 (開示)	55	47	40
部分公開 (開示)	47	51	18
非公開 (開示)	0	0	1
公文書不存在	26	4	5
取下げ	5	4	0
却下	0	0	0

※請求権者以外からの申出。

し等交付請求書」「土地家屋名寄台帳」などでした。
 ※運用状況は市役所別館6階行政資料コーナーと各図書館で閲覧可。情報公開や自己情報開示などの請求方法は市ホームページ参照。
 ⑤コンプライアンス推進課 ☎841・1294、FAX 841・3039

伏見市長の情熱日記



元気づくりのために一歩外へ！

「えっ！1日、1万5000歩も歩くのですか？」と驚く私に、「普通のことですよ」と話すのは、今年100歳を迎える山本六子さん（16ページ参照）。

山本さんのように、いつまでも元気に過ごすためには、外出の機会を増やすなど、体力向上を図ることも大切ではないでしょうか。

本市では、高齢者の介護予防に向けた取り組みとして、4月から市独自の生活支援サービスを開始。先日、その一つに私も参加してきました。

会場で、リハビリ専門職の指導のもと、要支援認定を受けた方々が一緒になって熱心に体操をされていました。私

もスティックを使う「エクサルク」という体操に参加し、楽しく身体を動かしながら交流させていただきました。

ある参加者は、骨折が原因で体力が低下し趣味のゴルフができなくなってしまったそうです。もう一度ゴルフがしたいという思いからこの事業に参加し、今ではコースを回れるほどに回復されたとのこと。

「広報ひらかた」では、行事の案内や講座の募集などさまざまな記事を掲載しています。外出のきっかけとしてぜひご参加いただき、体力向上のみならず、人との交流も楽しんでください！

住宅金融支援機構と協定を締結

市の定住促進補助制度利用で「フラット35」の金利を引き下げ

市は、若年世代の定住促進や転入者増加を目指し、住宅金融支援機構と協定を締結しました。三世大家族定住促進補助制度の利用者がさらに要件を満たす場合には住宅金融支援機構の住宅ローン「フラット35」の金利が5年間0.25%引き下げられます（関連40ページ）

9月26日に住宅金融支援機構の柳瀬近畿支店長が市役所を訪れ、「これからさまざまな形で協力していきたい」と話しました。
 ⑤景観住宅整備課 ☎841・1478、FAX 841・5101